

成長するホームページプロジェクト

1. 小学校5年

2. 実践のねらい

ホームページを通して、自分の思いや願いをどう表現するか考える力を育てる。(情報発信能力・表現力)

メール交換、ＴＶ会議、発表会等で相手をイメージしながら交流する力を育てる。(コミュニケーション能力)

評価をうれしく役立てながら、みんなの評価でだんだんよくしていこうとする力を育てる。(評価を活かしてよりよくする力)

3. 特徴・工夫・努力した点

自分たちの作ったホームページを全国のいろいろな人に見て評価してもらい、意見を取り入れて修正し、よりよいものにしていく活動を展開した。「評価を活かした学び」で、子どもたちは、「もっといいページを作ろう！」と意欲的に取り組んだ。

(1)特徴

作って終わりのホームページへの評価ではなく、作っていくプロセスに評価を取り入れ、どう成長したかが分かるように工夫してホームページを作っていった実践である。全国(海外)から多くの評価を集めて活動することができた。

(2)工夫した点

多くの人の評価で子供達のやる気をアップさせた。

・「総合的な学習の時間」の長い時間の持続には、外部評価をたくさんもらって(がんばるぞ!)という気持ちを持たせた。

インターネットでもらった評価はインターネットで公開し、共有した。

・いただいたメールは了解をもらってホームページでどんどん紹介し、共有化を図った。

とことんインターネットで評価募集のPRをした。

・知り合いの人や交流校にメールを出したり、メーリングリストに投稿したり、子どもと一緒に担当者もPRに全力をつくした。

4. 実践内容

願い 加茂町を！島根県を！日本を！世界を！やさしい町にしたい！

ゴール

このホームページを見た人が、「よし環境に気を付けよう。」「人にやさしくしよう。」と気持ちをもってもらう。

活動の流れ

・2学期に取り組んだ活動を紹介したり、新しく取材したりするなどして、自分たちの伝えたいテーマ(内容)を決め、ホームページにまとめて情報を発信する活動に取り組んだ。

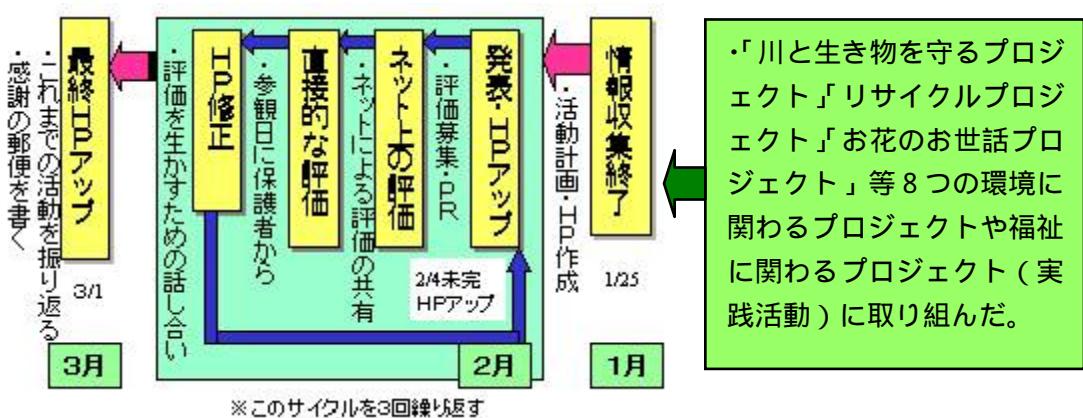
- ・下の図のような流れで<HP作成 評価 HP修正>というサイクルの活動を繰り返して、よりよいホームページ作りに取り組んだ。

成長するHPプロジェクト 18時間

<3学期>

加茂町をもっとやさしい町にする

プロジェクト 35時間<2学期>



実際のHP <http://serv.kamo-e.shimane.schoolnet.gr.jp/midori/2001/5nen/seicyohp/top.htm>

- ・評価は、メール、TV会議によるインターネット上の評価と共に、参観日に保護者から
感想・アドバイスをもらう直接的な評価も取り入れた。



参観日に保護者の方にプレゼンし、評価をもらう

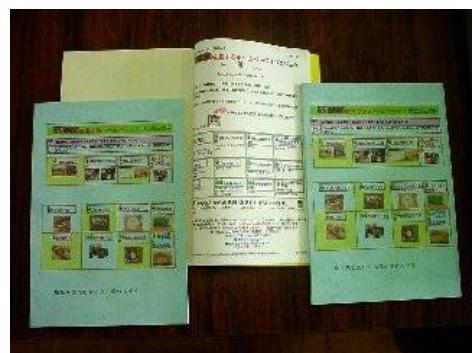


TV会議で交流校にプレゼン・評価

- ・活動の最後には、これまでの活動を振り返り、ホームページがどう成長したか、また自分自身にどんな力が付いたかを自己評価した。そして、評価をして下さった方たちに感謝の手紙を書いて活動のまとめとした。



ポートフォリオを見ながら作成



お礼として成長したHPをプリントした冊子が届く

5. 実践結果

活動の成果

(1)わかりやすく工夫しながら表現する力がついた。

このホームページを見た人に「よし、環境に気を付けよう。」「人にやさしくしよう。」という気持ちを持ってもらうというゴールを設定し、見る側(情報の受け手)を意識してページ作りを工夫していった。実際に取材したり、活動したことを写真、音声、動画など表現方法を工夫したり、自分達の考えを盛り込んだ内容にするなど、見た人たちからの評価を取り入れながら表現を考えていく力が育った。

(2)メールやTV会議で交流ができた。

全国から100通以上の評価をもらい、交流校とのTV会議やメールによる交流をすることができた。自分のアドバイスや感想がホームページで紹介されるのを喜んだという多く聞かれた。ホームページを作っている子どもたちだけでなく、評価して下さる方たちもホームページが成長していくのを楽しみにしてもらい、双方向性のある交流が生まれた。

(3)人の評価を自分に取り入れるようになった。

子どもたちは、評価が返ってくることを始め喜んでいた。うれしいけれど「成長するホームページ」なので、だんだん子どもたちは「いいホームページですね。」とほめられるよりも「具体的にどこがいいか教えてほしい。」「直すところをズバリ言ってほしい。」という評価を求めるようになってきた。同じ総合学習で環境をやっている他県の子どもたちからの反響は特に参考になり、評価をよい成果に活かす力が育ってきた。評価をいいものだと子どもたちは理解し始めている。

(4)パソコンスキルがアップするとともに、自分に自信を持つようになった。

ホームページ作成やデジカメ、ビデオカメラの操作・活用などのパソコンスキルがアップするとともに、たくさんの評価をもらい、自分に自信を持つようになった。意欲を持続させて活動に取り組むことができた。

子どもの感想

- ・HPを作るのは大変でした。もらった感想をもとにいいページができました。このプロジェクトをして、感想を元に考える力が付いたと思います。
- ・いろいろな人に励まされながら、最高のHPを作ることができてよかったです。感想をくれた人、本当にありがとうございました。
- ・みんなに分かりやすく見てもらえるように、楽しく見てもらえるように努力しました。他の人にゴミのことを分かってもらえるようにこれからも努力します。

6. 考察(今後の課題)

この活動を通して、一番の成果は子どもたちが自分に自信を持ったことである。海外や全国から予想以上のたくさんの感想やアドバイスをもらうことができた。町長さんや町の担当者の方からもメールをいただいた。励まされながらページ作りをやり遂げる中で、評価というのはいいものだと感じることができた。評価を活かして、自分自身が成長していくことを体験できたと思う。今後は、この評価のよさをポートフォリオ評価に活かしていきたい。